



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No. 1

令和6年 4月 8日

文責：校長 齋藤和彦

新年度のはじまり..はじまり！

“何だか うまくいきそうな気がする..”

“何か いいことがありそうな気がする..”

ぽかぽか陽気と桜の開花が誘う演出効果なのか、新しい教室..新しい出逢いに..新しい教科書に、ワクワク感と期待が膨らむ4月。

“何だか できちゃいそうな気がする！”

子どもには、こんな毎日を用意したいと思っています。でも、誰もが失敗することもあります。悩み..つまずく日だってあります。

自分の力だけで、これを乗り越えることは大変なことです。～これに挑戦する子、がんばろうとする子を薫小学校の先生方は、必ず全力で応援することを約束します。



学校経営で大切にしたいこと

「すべての子ども一人ひとりを大切にします」

- 日々の授業にわかる・できる「ひと手間」
- 子どものよさをとらえる「学年担任制」
- ・ 学年担任がチーム体制で子どもを見ます

「子どもの命を守ることを最優先にします」

- 「潜在危機の発見」と「迅速な改善対応」
- 危険（事故・けが）回避能力の育成

「学び合う教師」＝「働き方改善」を推進します

- 限られた時間の中で最善を尽くす働き方
- 働きやすさ/やりがい/心的ゆとりを生む
- ～子どもにかかわる時間の確保のために～
- ※ 「献身的な教師のがんばり」だけでは質の高い教育活動の維持・発展は困難な時代となっています。



学校経営や子どもの情報配信



薫小だよりは、折にふれて、校長としての学校経営についての思いや考えをお示しします。

薫小ホームページでは、写真で子どもの学校生活の様子を紹介します。[ほぼ毎日更新！]
※ 個人を特定する写真や氏名、記載内容には十分配慮します。(掲載許諾確認の上で)

今年度は「学年担任制」で！

「私の担任の先生は、〇〇先生だったよ！」

担任の先生は、学級の全てのことに責任をもって、全力を尽くします。これに加えて、【安心・安全・信頼】の更なる強化をめざして、学年の先生が力と心を合わせて、学年の子ども達を指導/支援していく体制です。

給食/清掃指導等を担任交換したり、教科交換授業を柔軟に行ったりします。

具体的には、こんなよさがあります。

- 学級を複数の学年先生が目よくみる。
- 多様な見方で子どものよさをとらえる。
- 担任が互いに指導/支援を協力し合う。
- 学年内学級間の差を最小限にする。
- 教員個々の得意（よさ）を活かす。など

低学年は、担任の先生のかかわりをたっぷりと！

高学年は中学校を見据えた教科担任制（交換授業）へ..など、学年の発達段階を考慮して進めます。



◆◆ 校長室より ◆◆

『何でも言ってください！（すぐに）』

・ 保護者の皆様の心配..不満..は、子どもの学校生活や学習に向かう力や心に直結します。子どもの前で、学校や担任の不満や文句を言うと、子どもも学校や先生をそのような目で見えるようになってしまいます。（学びの効果は半減します）

→ 学校や学級、校長や担任へのご意見や心配ごとがありましたら、どうぞ、言いやすいところにお気軽に伝えてください。

（校長室への電話やメモもO.Kです）

◆◆ このように、「校長室より」と題しまして、校長室から発信したいことや校内や学級を参観して、子どもと接して感じたことや考えたこと、職員のがんばり、「薫の子」のために保護者の皆様をお願いしたいこと等々を伝えていきます。子どもを真ん中に【安全・安心・信頼】を築いていきたいのです。



【裏面】「はじまりの日にあたって..」（職員会議資料）